

カレンダー デザイン案

色覚 シミュレーション

▼健常者の見え方



Point 1

Point 2

Point 3

Point 4

Point 5

▼色弱者の見え方



ごみ分別カレンダーのUD化

問題点

- ゴみの種類別に色分けされているものの、色弱者への配慮が足りない配色
- カレンダーには色だけで表示されているため、一目で判断しづらい
- 日々活用し、身近なものであるがデザイン的に優れたものではない

改善策

- 1 従来どおり、ゴミの種類別の色分けに加え、アイコンを添えました。
- 2 アイコンや文字色には、色弱者が判別しやすい配色を行いました。
- 3 カレンダー周囲のデザインは、色弱者、健常者とも、見て楽しい、美しいと感じる図案を配置しました。

Point 1

「今日は何を捨てる日か」を瞬時に判別できます。

Point 2

万が一、同じ色に見えてしまっても、アイコンがあることで判別可能。

Point 3

薄いグレーでマスを区切り、色弱者、健常者とも皆が見やすいよう配慮しています。

Point 4

同系色の配色でも、モザイク模様にすることで、色の境目が生まれます。色弱者もアートを楽しめます。

Point 5

濃淡差の少ない繊細な色遣いにより、最も必要な要素であるカレンダー部分を際立たせ、見やすくしています。